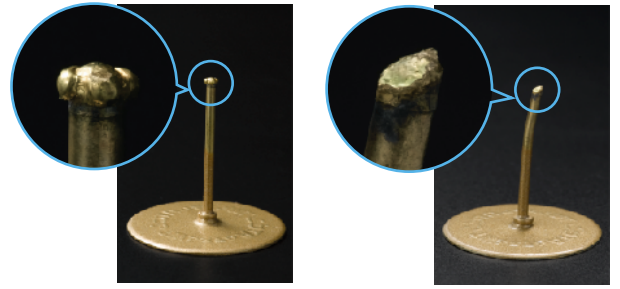


！ 注 意

ATピンによるダクトへの溶接施工

**こんな時は
きちんと溶接ができていません。
注意して下さい。**

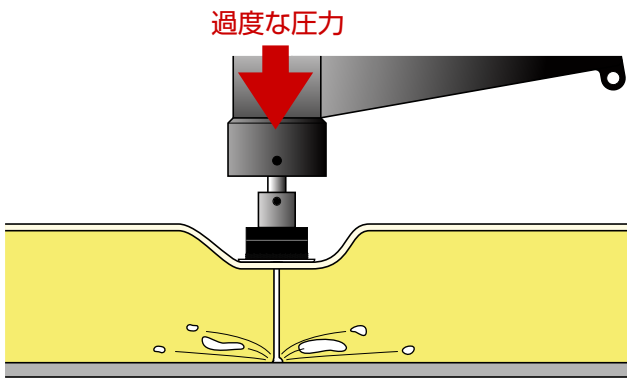


溶接不良を起こしたATピン先端の状態

原因1 圧力のかけ過ぎ

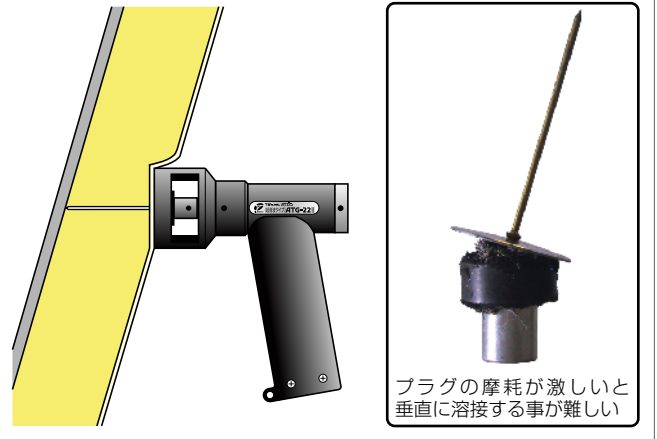
ATピン先に圧力をかけ過ぎますとピン先端に溶解する「ろう」が飛び散り溶接に必要な溶解「ろう」の量が低減し溶接不良の原因になります。溶接施工時にはガン内に装着しているバネの力で圧力を調節していますのでそれ以上の圧力が加わる施工は避けてください。

※アダプターの無装着や必要以上の押し付けが原因と言えます。



原因2 斜め撃ち

プラグの摩耗などでまっすぐにしているつもりでもピンが斜めになるなど、下地とピンが垂直に接していない場合十分な溶接力が発揮されることがあります。また、下地が斜めになっている場所へ溶接する時に、ピン先端が滑ったり動いたりすると溶接不良を起こすこともあります。



原因3 GCの巻き込み

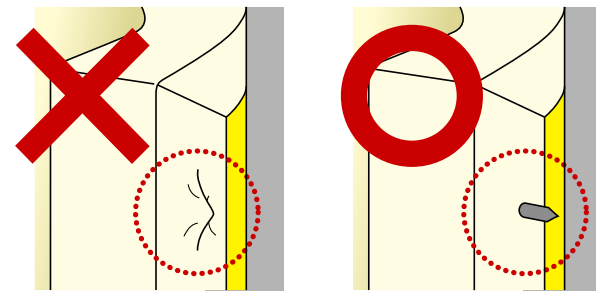
GC貼りの端部はガラスクロスが裏面まで回り込んでいる場合があります。ガラスクロスに邪魔され下地へピンの先端が接触していない場合は溶接不良を起す恐れがありますので、ATピン先端部が確実に下地まで達している事を確認してから溶接作業を行ってください。

<確認方法例>

- ・溶接後にピンを手で何回か軽く左右に曲げて確認する。
- ・溶接前にピンがガラスクロスを貫通している事を確認してから溶接する。

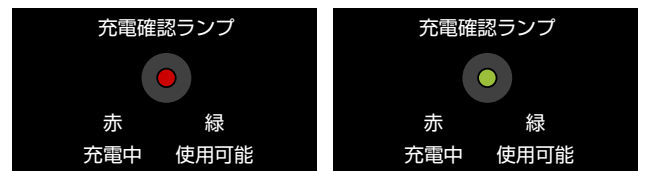
<予防処置例>

- ・裏面にまわり込んでいるガラスクロスを事前に除去する。



原因4 早撃ち

ATS-212 (約1秒) 及びATS-322 (約4秒) の間隔をあけて作業を行ってください。これ以下の間隔で作業された場合は、溶接力が低下し確実な溶接がされない恐れがあります。尚、電源ランプの色で溶接作業の可否が確認できます。



赤色が点灯している時
充電中または節電スタンバイ中 (溶接不可)

緑色が点灯している時
溶接が可能



※溶接後にピンを引っ張るなどして自主点検されることをお勧めします。

株式会社 **タイルメント**

！ 注 意

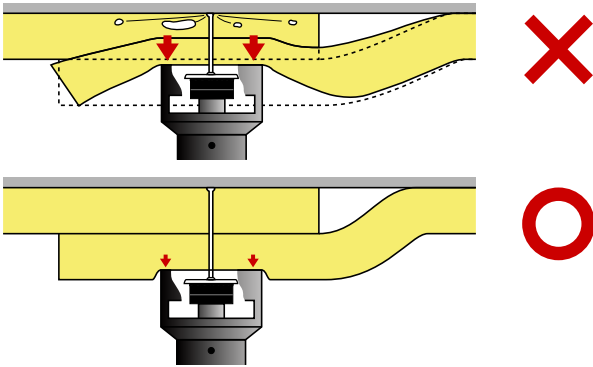
ATピンによるダクトへの溶接施工

**こんな時は
きちんと溶接ができていません。
注意して下さい。**

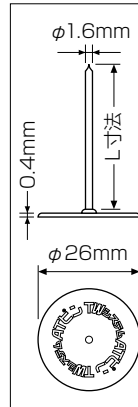
原因5 強引な溶接

グラスウールの重なり部分は当然厚みが2倍になります。他の部分と同じ長さのピンを使用して施工した場合、圧力をかけすぎた施工により溶接強度が不足するうえ、グラスウールの自重と反発力によりATピンにかかる荷重が大きくなりピンがはずれることがあります。

グラスウールの重なり厚にあった長さのATピンをご使用下さい。



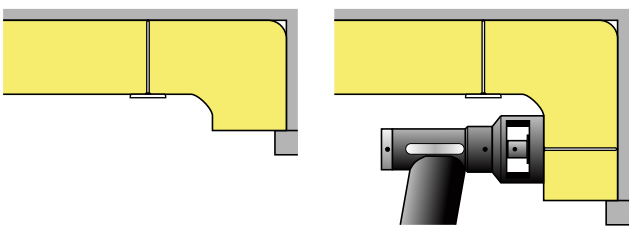
ATピン種類	ATピン種類		絶縁色	適用材厚 (mm)
	品名	L寸法		
ATP-17	ATP-17	17mm	ゴールド	25 (ロール)
ATP-22	ATP-22	22mm	シルバー	25
ATP-24	ATP-24	24mm	ゴールド	25
ATP-38	ATP-38	38mm	ゴールド	40 (ボード) 50 (ロール)
ATP-46	ATP-46	46mm	シルバー	50
ATP-49	ATP-49	49mm	ゴールド	50
ATP-72	ATP-72	72mm	ゴールド	75
ATP-96	ATP-96	96mm	ゴールド	100



原因6 コーナー部分への斜め撃ち

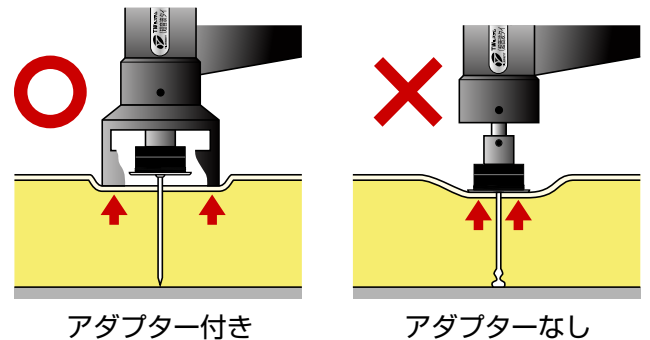
ダクトの吹き出し口のコーナー部分ではATガンのアダプター径の長さが短い場合もあります。こんな部位には、ついATピンを斜めに撃って処理しがちですが、十分な溶接力が発揮されなかったり溶接不良を起こすことがあります。

アダプター付きで溶接するのに必要なスペースが確保できるか確認し、ダクトとグラスウールの間に隙間ができないようにできるだけ密着させます。その後ATピンが垂直に溶接できるように施工します。



原因7 アダプターの未装着

ATピンは溶接して止め付ける施工方法ですので、溶接時にわずかですがピンの長さが短くなります。その時、短くなった分グラスウールの反発力が発生し、ATピン先端が下地から離れてしまう可能性があります。アダプターは溶接時に発生するグラスウールの反発力を抑え、溶接完了までピン先端が確実に下地へ接している状態を保持させる働きを持っています。確実な施工を行なう為にアダプターを装着した状態でご使用下さい。



※溶接後にピンを引っ張るなどして自主点検されることをお勧めします。

株式会社 **タイルメント**

本社 / 〒453-0067 名古屋市中村区宿跡町1-58 電話：052-412-5300 FAX：052-412-8900
東京支店 / 大阪支店 / 名古屋支店 / 札幌営業所 / 仙台営業所 / 横浜営業所 / 広島営業所 / 福岡営業所 / 北陸出張所 / 大垣工場 / 技術開発センター